

昭和初期(一桁代)の真空管式ラジオ



部品の7割はアメリカ製。
腐食のため、部品の半分を日本製で修理。
感度や音声は良好です。
<修理・再生：JA7WQ さん>

JA7WQ 笹川さんのホームページには真空管式のラジオが掲載されています。